

新庁舎整備に関する中間とりまとめ(案)
〈あま市役所新庁舎基本設計(中間素案)〉

平成29年2月
あま市

検討の経緯

平成27年3月に「あま市本庁舎基本構想・基本計画」を策定しました。

その後、平成28年8月に、あま市本庁舎基本設計委託業務の設計者を公募型プロポーザル方式にて選定し、基本設計に着手しました。

・今年度は、計4回の市民ミーティング(コース(中高生)・おとな)と、2回の基本設計委員会を開催し、市民の皆様からのご意見を頂きながら中間報告としてとりまとめを行いました。

・来年度、この中間パブリックコメントで頂くご意見を参考にしながら、引き続き、基本設計を進めてまいりたいと思います。



市民ミーティングの報告

第1回 平成28年12月4日(日) 「まちの特徴を知る」

それぞれの視点から、まちの魅力、特徴を知ること、「あまらしさ」とはどんなものなのか、一緒に考えました。

すどろく形式で、残るとよいことをもっと発展させるためには、変わるとよいことを改善するにはどうしたら良いか、大人もコースも一緒になって考えました。



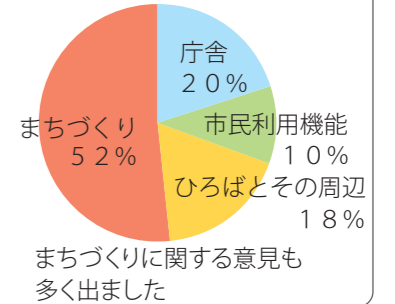
第2回 平成28年12月17日(土) 「あますどろく(まちの分析)から庁舎を考える」

「まちの分析まとめ」をもとに4つのテーマでディスカッションを行いました。

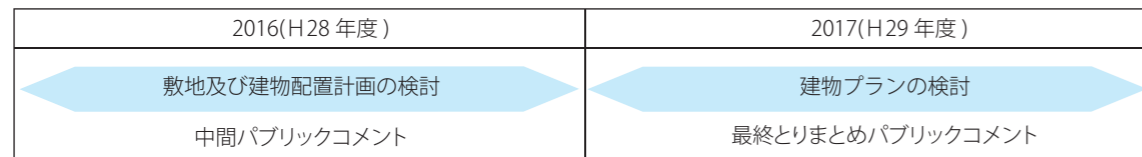
- 庁舎機能
- 市民利用機能
- ひろばとその周辺
- まちづくり

【主な意見】

- ・「(新庁舎予定地が) 駅から遠い」という意見に対して、道のりを楽しくすればいいというような、まちづくりのヒントになるような提案
- ・土地のものを使ったカフェや、広場の使い方への提案
- ・庁舎をまちを良くする為のハブとして使う提案や、市民活動センターなどの提案
- ・建設コストに対する十分な検討

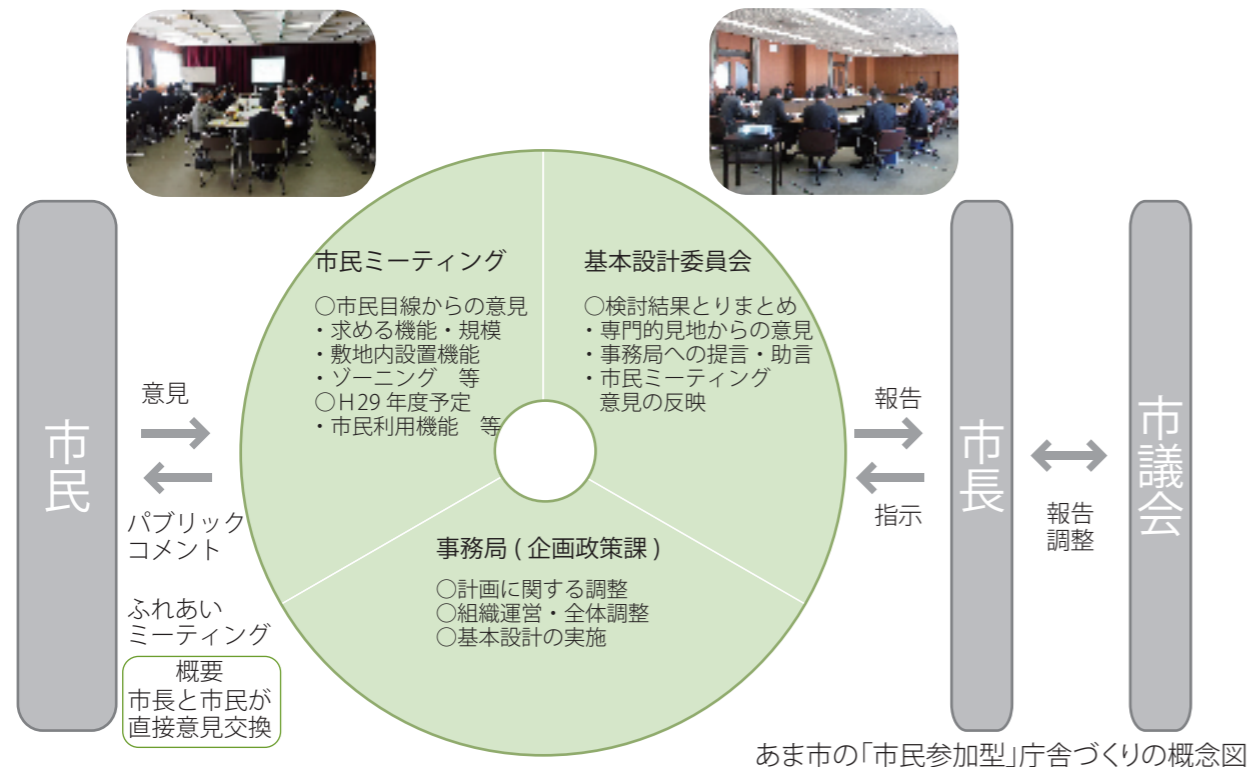


基本設計業務2ヶ年スケジュール



あま市本庁舎の基本設計は、市民ミーティングや基本設計委員会、パブリックコメントなど、市民のみならずにご参加頂きながら「市民参加型」による庁舎づくりを目指しています。

あたらしいあま市にふさわしい市庁舎として、市民の皆様とともに、進めてまいりたいと考えています。



第3回 平成29年1月22日(日) 「配置案に提案をのせて考える」

提示された複数の配置案について、第1回、第2回市民ミーティングで出た新庁舎への提案がどのようなスペースでできそうか、配置図をみながら意見を出し合いました。

市民が気軽に立ち寄れるような居心地のよい環境や市民活動スペースの整備、交通アクセスや、広場機能について、具体的な活用イメージが想像できる意見が多く出されました。

いただいた意見は、提案ダイアグラムに、テーマ毎にまとめました。



第4回 平成29年2月4日(土) 「庁舎・庁舎敷地でできること、配置イメージに対する提案やアイデアのとりまとめ」

今までの市民ミーティングや各グループの提案内容を振り返り、配置案をもとに空間や機能面について、話し合いました。

配置については、第3回、第4回とで、2回に渡って話し合うことで、広さやイメージについて、想像をふくらませながら議論を深めることが出来ました。



参加メンバー

| 【おとなミーティング】 | |
|--------------|-----|
| 一般公募 | 13名 |
| 推薦 (20代~70代) | 3名 |
| 合計 | 16名 |
| 【コースミーティング】 | |
| 中学校 (市内5校) | 22名 |
| 美和高校 | 4名 |
| 五条高校 | 3名 |
| 合計 | 29名 |

市民ミーティング 提案ダイアグラム

- 庁舎機能
- 広場機能
- 交通・アクセス機能
- その他の機能・運用

【庁舎周辺の交通環境整備】

- ・庁舎周辺の事故対策
- ・名鉄津島線立体交差
- ・七宝駅周辺道路との関連
- ・庁舎の出入り口に信号をつけるかどうか
- ・感知式の信号
- ・施工チェックをしっかり

【庁舎への円滑なアクセス】

- ・庁舎までの道のりに七宝焼に関連した施設をつくる！
- ・七宝焼で道路をつくる
- ・七宝焼でつくられた街灯をふやす！
- ・レンタサイクルの拠点にする
- ・自転車の貸し出し
- ・雨の日も考慮してほしい（屋根または庁舎近くに）
- ・駐輪場をつくる（絶対！）
- ・車を停めた場所がわかりやすいサインが欲しい

【防災機能としての庁舎】

- ・屋上避難が無理なら防災タワー
- ・防災タワーマップ
- ・高圧線大丈夫ですか？
- ・地盤はあげられるのか？
- ・まず2mあげる
- ・浸水時に周辺道路が冠水しないか
- ・液状化対策 ・ゲリラ豪雨対策
- ・開発系許可、道路整備の実現性は？

【運用の工夫】

- ・雨水をためてアートヴィレッジのように補助金を
- ・補助金の活用を取り入れる
- ・知財を使ったデザイン、発明考案などを取り入れる
- ・会議室の市民利用（休日等）の一部負担金をもらう
- ・アンテナの利用許諾料として収入をはかる

【テーマ性のある庁舎】

- ・コンパクトな庁舎
- ・家のような庁舎

【働きやすい庁舎】

- ・庁舎の中とか音楽が流れとったらいと思う
- ・職員さんの自己紹介カードがあった方がいい

【気軽に寄れる庁舎】

- ・漫画、雑誌を置いて来やすく
- ・親が手続きとかしどる時に小さい子とかが遊べるスペースを中につくる！！
- ・Wi-Fiスポット
- ・ついでに用事をすませられる
- ・すべての銀行のATMが欲しい
- ・開館時間の拡大
- ・夜間開放（学校が終わってから）

【居心地のよい環境】

- ・ガラス張りは熱い！
- ・西側はガラス張りにしない
- ・雨の日すべりにくい床にする
- ・洗って使えるような壁紙を使ってほしい（リフォーム）
- ・中央廊下は暗い？南側を通路にする
- ・自然光をたくさん取り込んでほしい！（光熱費を下げる）
- ・庁舎の中が明るくなるように、自然の光を取り入れたり壁の色を明るい色にする（白など）

【保健センター機能】

- ・保健センターを老人施設と複合化
- ・市役所でプチ健康診断ができるといい
- ・小さい子どもがいるお母さん（市役所の職員も）のために保育所をつくる

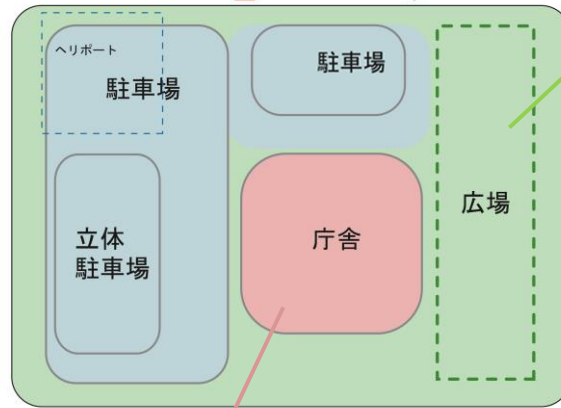
【地元の資源を活用】

- ・庁舎のどこかに七宝焼を取り入れる
- ・市章を七宝焼で 当然のこと
- ・壁画のあまえん坊
- ・あまえん坊のことを沢山の市民に知ってほしい
- ・あまえん坊と七宝焼のコラボレーション
- ・市民でタイルを壁に貼る

【市の情報発信の場】

- ・情報スペース
- ・自由にチラシやポスターを貼っていい掲示板を置いてほしい
- ・情報が拾いやすいスペース（窓口が開かなくても知りたいことが知れる）ポランディア、観光など

- ・イベントカレンダー、地域の催し物（事）を日別に知れるように
- ・市民が「気軽に」意見（庁舎やまちづくりに対して）を書いて入れられる箱の設置
- ・「〇〇町」ではなく「あま市」の意識が芽生える場所にする



【内と外のつながり】

- ・屋内と屋外で連動したイベントができる
- ・広場をみながらお茶するスペース
- ・市民が使える場所はなるべく入りやすいところに

【駐車場とのつながり】

- ・立体駐車場からの直結道路をつくる

【広場の大屋根】

- ・雨の日でも遊べる広場
- ・広場に屋根が欲しい
- ・広場の上に屋根？的なのが欲しい。ポール遊びできるように高めて！！（雨の日も遊びたい！！）
- ・雨や日光から防げる屋根のあるステージがほしい

【広場のスペース分け】

- ・縦長は活動しにくい
- ・広場はゾーン分けしていろいろな使い分けが出来るように（アスファルトと芝生等）
- ・幼児の公園（広場）、小学生の公園（広場）を区別し、安全にする！
- ・（平常時）マルシェ等
- ・（災害時）防災拠点

【市民が運営や維持に関わる仕組み】

- ・広場の管理を中高生の活動でできないか？愛着もわくきっかけとなる

【外部のトイレ】

- ・市庁舎が閉まっても使えるトイレが欲しい！
- ・外から利用できるトイレがほしい

【遊べる広場】

- ・バスケットゴールが欲しい
- ・ボールで遊べる場所
- ・広場の一部にスポーツ目的で立ち寄れるような場所
- ・広場を人工芝にしてほしい（サッカー）
- ・水遊びができるところ
- ・花火可
- ・ピクニックできるようにする。パーベキューとかも
- ・土曜日はこども市場！（アートヴィレッジは日曜日）
- ・広場の形を生かす道具（細長い）

【自然豊かな広場】

- ・道路沿いに桜を植える→花見！人が寄る！
- ・春夏秋冬の樹木
- ・スギの木はやめてほしい
- ・桜、梅/向日葵、あじさい/もみじ/椿など色んな花が咲いたらキレイ
- ・季節の花を広場にうえる
- ・広場の水はけを良くしてほしい！！（地面ドロドロだと遊べんから！）

【食とくつげる場所】

- ・カフェと活動センター、オープン
- ・たくさん人が入れる食堂をつくる
- ・食堂（外部の人もつかえる）
- ・地産地消のカフェ（食堂）をつくる
- ・地産カフェ（JA）方領大根、小松菜、ネギ
- ・地元の農産物をつかったバイキング

【勉強ができるスペース】

- ・図書館や勉強できる場所を設ける
- ・学習室がほしい
- ・自習できるスペースが少ない
- ・自習室、必要性和環境づくりを要考察
- ・静かなスペースをどうやってつくる？
- ・静かな空間

【気のある市民活動スペース】

- ・（市民利用機能）庁舎機能とは分離し、独立して多機能化
- ・1階に外からも中からも入れる出入口を2カ所つくる
- ・市民活動センターを前面に！
- ・活動スペースで学生さんと大人の方とかが演奏したり、歌ったりしていたら、市も明るいイメージになると思う

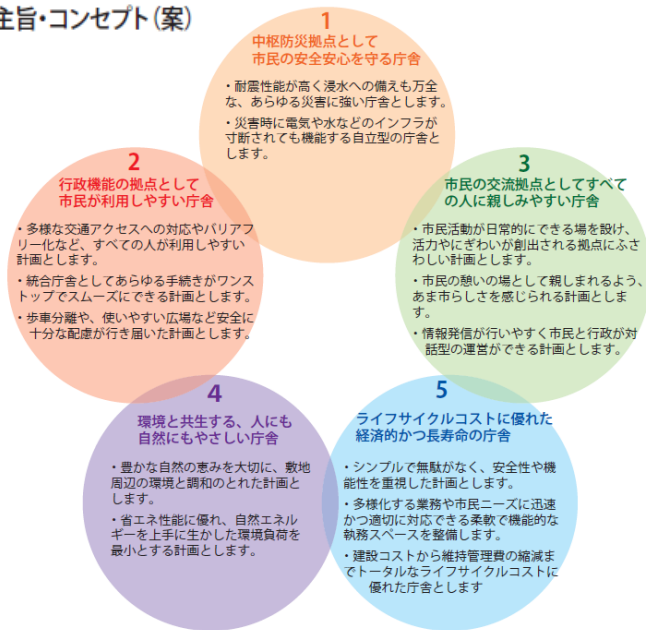
【多様な使い方ができる広いホール】

- ・楽器を吹いてもOKな防音室が欲しい
- ・フレキシブルに使える会議スペース、ホールのな場所
- ・ロビーと一体化で200人程度のホール、開けると広く使える
- ・ラーメン選手権やスイーツ食べ放題など大きいイベントがあればいいなと

【貸しスペースの充実】

- ・スペースを貸すシステム、制度をしっかりとつくとつてほしい
- ・直前でも気軽に借りられるように
- ・子供会で気軽に使えるスペース
- ・みんな使えるよう、料金が低くなる施設
- ・公民館がポロい…（沖ノ島の）使いづらい
- ・土日でも使える庁舎
- ・休日に建物内に入らなくても利用できるしくみ

設計主旨・コンセプト(案)



敷地造成計画案



- ・庁舎周辺敷地は、市防災対策本部のみならず、広域的な支援部隊等の参集活動を想定し、庄内川の最大浸水水位T.P.+1.035mに余裕高(約1m)を考慮したうえで、地盤の嵩上げ(T.P.+2.2m)を計画し、浸水リスクに対して、十分な備えを講じてまいります。(この計画高は、平成28年12月に公表された木曾川の想定し得る最大規模の降雨による浸水深にも対応できています。)
- ・庁舎の耐震構造と盛土造成計画の一体的な検討を引き続き進め、最適な構造計画とともに、適切な工事計画についても取りまとめてまいります。
- ・地盤の嵩上げ(T.P.+2.2m)については、周囲に及ぼす圧迫感を軽減するために、直壁構造ではなく、敷地外周に法面を設けるとともに、法面部分に植生による緑化を施し、法面の風化や浸食を防止します。
- ・法面の構造については、腰止擁壁からの法面や緩やかな勾配による法面処理など、場所によって構造処理を変えるなどの工夫を引き続き検討し、盛土造成計画と一体的に取りまとめてまいります。

周辺道路計画

- 道路計画の策定においては
- ・市内各所からの円滑な来庁アクセスを確保するため、どうしても必要となる道路配置を計画しました。
 - ・周辺にお住まいの方の居住環境対策として、県道からの庁舎への出入、東側集落からの県道への出入、安全な通学経路の確保について検討しました。
 - ・庁舎周辺道路は、安心して安全な歩行空間の確保のため、歩道設置による歩車分離をしっかりと図ってまいります。



事業スケジュール

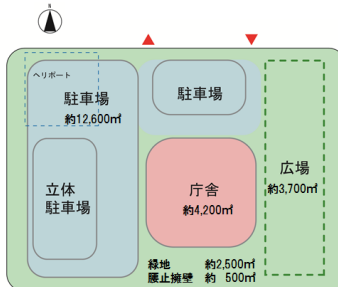
| 年 | 2016(H28年度) | 2017(H29年度) | 2018(H30年度) | 2019(H31年度) | 2020(H32年度) | 2021(H33年度) | 2022(H34年度) |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 新庁舎整備 | 基本設計 | | 実施設計 | 庁舎建設工事 | | | |

配置計画案

- ・庁舎、駐車場、広場の配置に対する評価や、期待する機能について、まとめました。

■庁舎

- 《配置に関する評価》
- 敷地のほぼ中央に位置
 - 周辺への圧迫感が最も少ない
- 《期待する機能》
- 気軽に奪れる庁舎
 - 地産地消など地元の資源を活用
 - 活気ある市民活動スペース
 - 保健センター機能



■駐車場

- 《配置に関する評価》
- 広場との離隔により子どもの安全が確保できる
 - 車と徒歩のどちらにもアクセスしやすい
- 《期待する機能》
- 交差回避がわかりやすい
 - 使い勝手のよい安全な駐車場・駐輪場
 - 災害時やイベント時の活用も想定

■広場

- 《配置に関する評価》
- 庁舎と連動したイベントができる
 - 多様な活動が可能
- 《期待する機能》
- 遊べる広場
 - 市民が運営や維持に関わる仕組み